

火災感知器の お取り扱いについて

本書は製品を正しくご使用いただくための注意事項や基本的な取扱方法などを説明しています。よくお読みいただき、ご理解の上ご使用ください。

本書は大切に保管し、いつでも確認できるようにしてください。

本書に書かれていないお取り扱いをされた場合や、火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

1 記号のご説明

■誤ったお取り扱いによる危害や損害の程度を以下の表示で示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が重傷や障害を負うか、防災機能の一部に重大な悪影響をおよぼすことが想定される場合を表しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される場合を表しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



「一般的な禁止」



「分解禁止」



「必ず行う」



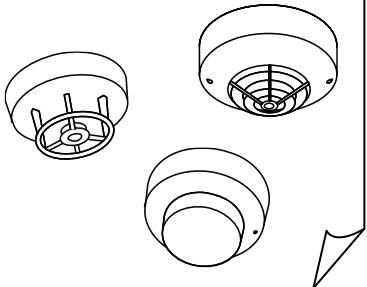
「感電注意」

2 感知器とは

感知器には、熱を感知するもの（熱感知器）、煙を感知するもの（煙感知器）、炎を感知するもの（炎感知器）などがあります。

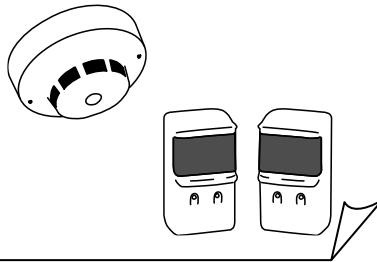
熱感知器

感知器周辺温度の上昇を感知します。



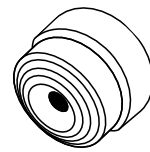
煙感知器

感知器内部や感知エリアに進入した煙粒子を感知します。



炎感知器

炎から出る紫外線や赤外線などを感知します。



3 使用上のご注意

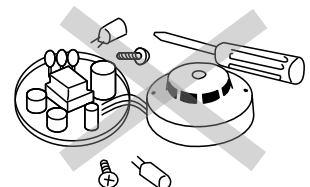
⚠ 警告



ペンキなどで感知器を塗装しないでください。火災時に不動作や作動遅れの原因となります。



感知器を分解したり、本体内部に手を触れたりしないでください。誤作動や故障の原因となります。



感知器に明らかな変形やひび割れを発見したときは、すみやかに点検契約先に修理を依頼してください。正常に機能しない原因となります。

⚠ 注意



注意

感知器は熱、煙、炎などを感知するものです。
火災を防止したり、消火したりするものではありません。

※感知器の交換目安はおおよそ10年です（（一社）日本火災報知機工業会推奨）。

ただし、厳しい環境に設置されている場合には早めの交換を推奨します。

4 清掃について

感知器を含む自動火災報知設備は6ヶ月または1年の定期点検（自主設置を除く）で性能の確認をしているため、特に清掃を行う必要はありません。
ただし、表面の汚れが気になり清掃される場合には、感知器が誤作動、故障する原因となる場合がありますので、下記に十分ご注意ください。

⚠ 警告

⚠ 警告 清掃を行う際、感知器内部にほこりが入ったり、センサーに触れたりすると作動することがあります。

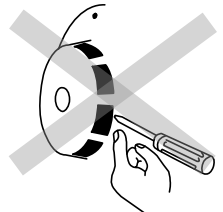
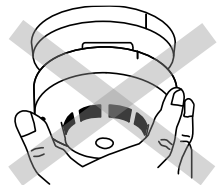
⚠ 警告 高所での作業となる場合がありますので、転倒や落下などの危険があります。
足場の確保など安全に作業できるようご注意ください。

⊘ 感知器を落下させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

⊘ 感知器は取り外さないでください。火災発見ができなかったり、感電したりするおそれがあります。

⊘ 感知器内部を手で触ったり、綿棒や異物などを差し込んだりしないでください。

⚡ ぬれた手で感知器に触れないでください。感電するおそれがあります。



⚠ 注意

⊘ 洗剤、殺虫剤、漂白剤、アルカリ性溶液、ベンジン、シンナーおよびアルコールは感知器表面を傷めますので絶対に吹きかけないでください。誤作動や故障の原因となります。



! 感知器表面の汚れが気になる場合は乾いた布で表面を軽く拭き、ほこりや水が感知器内部へ入らないようにしてください。

5 その他のご注意

⚠ 注意

- 次のような条件で使用しないでください。火災以外の要因で感知器が作動する原因となります。



感知器の下で煙、蒸気または熱を発生する物（電気ポット、調理器具など）を使用しないでください。



直射日光や反射光が感知器に当たらないようにしてください。

- 誤作動を防ぐため、次のことを実施してください。



エアコンの風が直接感知器に当たらないよう、エアコン吹き出し口の風向などを調整してください。
急激な温度上昇を感知する場合があります。

湿気や湯気が多く発生する場合や、多量のちりやほこりが舞い上がる場合は換気してください。



また、ピット階などでコンクリートから発生する結露にはアルカリ性の物質を含んでいる場合があります。防水型の感知器でも樹脂にひびが入り、故障の原因となることがありますので、断熱材などで結露の対策をしてください。

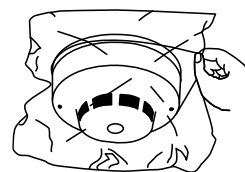


次の場合は、ポリ袋などで感知器を覆ってください。

- ・室内改修工事でガン吹き塗料、霧状の塗料を使用する場合

- ・殺虫剤（くん煙式殺虫剤、加熱蒸散殺虫剤など）を使用する場合

※作業後は忘れずにポリ袋などを取り除いてください。



※更に詳しい内容については、『自動火災報知設備の非火災報対策マニュアル』（（一社）日本火災報知機工業会発行）などをご覧ください。

※その他、火災感知器のお取り扱いについてご不明な点は下記へお問い合わせください。

ホーチキ株式会社

本社 〒141-8660 東京都品川区上大崎 2-10-43 TEL03 (3444) 4111 FAX03 (3444) 4118

お客様ご相談窓口 0120-919-856 受付時間 9:00~17:00(土・日・祝祭日、および弊社休業日を除く)

URL: <https://www.hochiki.co.jp>